

戻りつつある日常に潜む問題解決のために
～共生社会の実現に向けて～

日本ホスピタリティ検定協会事務局長 とみたなおひで 富田直秀

はじめまして

わたしたち日本ホスピタリティ検定協会は、社会における「人と人とのつながり」の根本である「心の在り方」に着目し、「人間力の向上」や「ホスピタリティの実践」を広く社会全体で取り組めるよう、書籍・検定試験・研修会等のコンテンツを金融、観光、医療・介護業界、大学、専門学校、高等学校等の教育機関など、多くの業界、業種の皆様に提供し、ご活用いただいています。

日常回帰と副産物

新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに、「ニューノーマル」の時代が到来しました。未来へのポジティブな変化の原動力となるデジタル化やダイバーシティは、「人と人、そして社会をつなぐ」という面で新しいコミュニケーションやコミュニティを生み出しています。しかしその副産物としての個人化が進み、「差別」や「孤立」など

の弊害を生み出し、社会分断のひとつの要因となっている事も否定できません。

アフターコロナで少しずつ人の心や行動にも余裕が戻り始め、SDGsへの取り組み等、社会的施策が動き出すとともに、それらによる弊害にも注目が集まりつつあります。人と人が支え合う社会「共生社会の実現」に向けての行動が、今、求められているのです。

共生社会の実現に向けて

弊会は、「人と人とのつながり」と「心の教育」を大切にしています。また、「共生社会の実現」もマテリアリティのひとつと捉えており、その実現のためには、社会の構造改革はもろろんのこと「相手の力になりたい」と考えて行動する「ホスピタリティ・マインド」の発揮も不可欠な要素であると考えています。大きな変革やハード面に直接影響を与えることはできませんが、小さく、奥深いソフト面で

のサポートや啓蒙の一助となるべく、「共生社会コミュニケーション検定試験」および「社会人ホスピタリティ検定試験」を実施しています。この2つの試験は、日常生活やビジネスの現場において役立ち、そして多様な社会をより広く、深く知るきっかけとなるはずで、また、公益財団法人共用品推進機構の星川専務理事にご協力いただき、「共生社会コミュニケーション検定試験」の参考書としても活用しております。共生社会も発刊しております。共生社会を知り、その実現に向けて行動するためのヒントが詰まった入門書として、是非ご一読をお勧めいたします。

「社会人ホスピタリティ検定試験」に関心を持ったということ自体、みなさんが「こころ」という「人と人とのつながり」にとっとても大切なことに気づいたこととなります。

その気づきがさらなる関心に繋がり、共生社会やホスピタリティについてより深く学び、知り、それぞれの必要性を理解するきっかけとなるはずで、相手の立場に立ち、心から相手のことを考えて行動して、共生社会の実現のために一歩踏み出しましょう。

一歩踏み出すために

弊会の試験は、みなさんの関心や目的に応じて選んでいただければ結構です。「共生社会コミュニケーション検定試験」および



共生社会の教養 (経済法令研究会)

共生社会コミュニケーション検定試験



社会人ホスピタリティ検定試験

